

- 1 課題名 資源管理体制・機能強化総合対策
- 2 区分 国庫補助
- 3 期間 平成13年度～23年度
- 4 担当 資源海洋部（土居内 龍）
- 5 目的

太平洋南区イサキ資源回復計画，および瀬戸内海区小型機船底びき網漁業包括的資源回復計画の進行管理のため，資源状況のモニタリングと生物学的特性を解明する。

6 成果の要約

1) イサキ

(1) 試験方法

和歌山南漁協（田辺本所）と紀州日高漁協（印南町支所）において，一本釣りの漁獲量と努力量（隻数）を調査した。また和歌山南漁協（田辺本所）において，一本釣りで漁獲されたイサキの尾又長を測定した。

(2) 結果の概要

2009年の漁獲量は，田辺本所は69.6tで前年比1.2，印南町支所は11.9tで前年比1.2であった（図1）。2009年のCPUEは，田辺本所は14.8kg／（隻・日）で前年比1.1，印南支所は6.7kg／（隻・日）で前年比0.9であった（図1）。

イサキ資源回復計画では，2006年より全長20cm以下を再放流する取り組みが，一本釣り漁業者の間で実施されている。2009年度は，2006～2008年度と同様に尾又長19cm（≒全長20cm）以下の漁獲が非常に少なかった（図2）。これは，小型魚放流の取り組みが確実に実行されていることの現れであると考えられる。

2) 小型底びき網

(1) 試験方法

有田箕島漁協（箕島町本所）と紀州日高漁協（南部町支所）において，タチウオの漁獲量を調査した。

(2) 結果の概要

2009年の漁獲量は，箕島町本所（小型底びき網）は1,074tで前年比0.8，南部町支所（延縄）は72tで前年比0.7であった（図3）。

7 成果の取り扱い

1) 成果の普及

資源回復計画作成推進事業太平洋区漁業種類別漁業者協議会および同和歌山海区漁業者協議会において発表を行った。

2) 成果の発表

平成21年度中央ブロック資源・海洋研究会および平成21年度中央ブロック資源動向調査分科会で発表を行った。

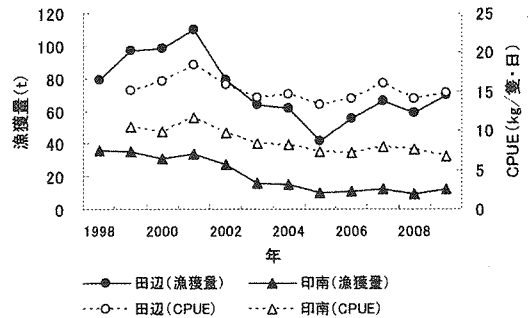


図1 和歌山南漁協（田辺本所）と紀州日高漁協（印南町支所）におけるイサキ一本釣り漁獲量とCPUEの経年変化

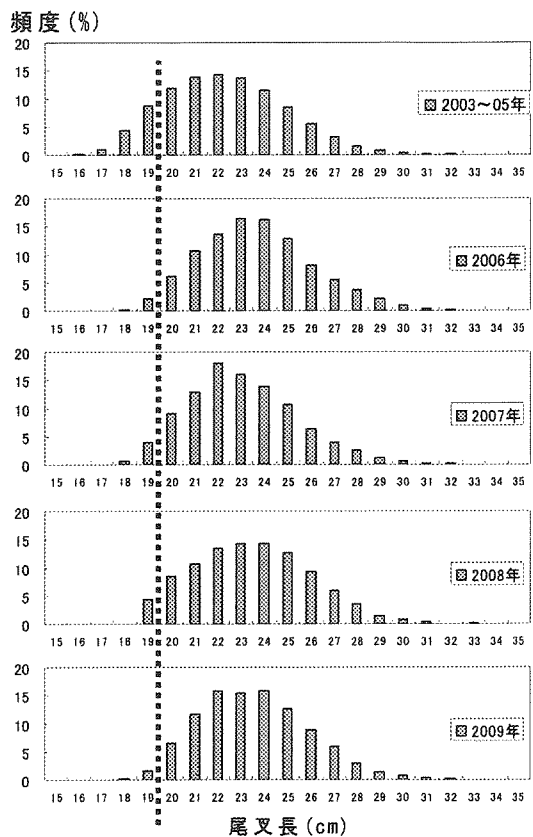


図2 和歌山南漁協（田辺本所）で漁獲されたイサキの尾又長組成

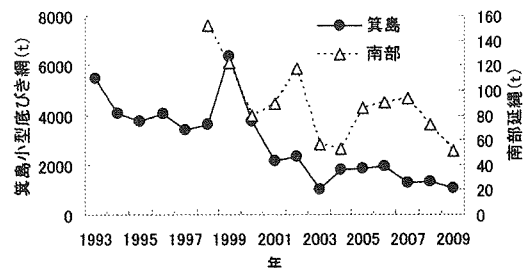


図3 有田箕島漁協（箕島町本所，小型底びき網）と紀州日高漁協（南部町支所，延縄）におけるタチウオ漁獲量の経年変化